(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　KRd　療法　1サイクル 4 週

疾患名　再発又は難治性の多発性骨髄腫（1サイクル目）

注射		商品名	用量(/回)	投与ルート	投与時間	1							2							3							4						
内服	Rp		用量(/日)	用法		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線		照射部位	照射量																													
注射	1	5%糖液	250 ml	点滴	キープ	●	●						●	●						●	●												
注射	2	5%糖液	50 ml	点滴(側管)	キープ	●	●						●	●						●	●												
注射	3	カイプロリス	※20 mg/㎡	点滴(側管)	10分間	●	●																									
		注射用水	2mg/mlで溶解																													
		5%糖液	50 ml																													
			※最大44mg																													
注射	4	カイプロリス	※27 mg/㎡	点滴(側管)	10分間								●	●						●	●												
		注射用水	2mg/mlで溶解																													
		5%糖液	50 ml																													
			※最大59.4mg																													
注射	5	5%糖液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ	●	●						●	●						●	●												
注射	6																															
注射	7																															
注射	8																															
注射	9																															
注射	10																															
内服	1	レナデックス	40 mg	1日1(-2)回朝(昼)食後		●							●							●							●						
内服	2	レナデックス	4 mg	1日1回朝食後			●							●							●												
内服	3	レブラミド	25 mg	1日1回就寝前		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
内服	4																															
内服	5																															
内服	6																															
放射線			Gy																													

特記事項

・血液毒性またはGrade3以上の非血液毒性が出現した場合には休薬し、症状が回復した場合は以下を目安としてカイプロリスの減量を考慮する。
・CCr＜15ml/minとなった場合はカイプロリスを休薬し、CCr≧15以上に回復した場合は再開を検討する。
・腎機能障害の場合の開始用量の目安（レブラミド）：中等症腎機能障害 30≦CLcr＜60mL／min；本剤10mgを1日1回投与で開始し，2サイクル終了後忍容可能な場合は15mgに増量できる。重症腎機能障害（透析不要） CLcr＜30mL／min；本剤15mgを2日に1回投与。重症腎機能障害（透析必要） CLcr＜30mL／min；本剤5mgを1日1回投与（透析日は透析後に投与）。

減量規定

薬品名	カイプロリス	レブラミド	レナデックス		
標準投与量	27 mg/㎡	25 mg	40 mg		
1段階減量	20 mg/㎡	15 mg	20 mg		
2段階減量	15 mg/㎡	10 mg	12 mg		
3段階減量	中止	5 mg	中止		
4段階減量		中止			